




© Luca Giacomo Schulle

Raimund Hoghe [ライムント・ホーゲ] 最新作


An Evening with Judy

アン・イブニング・ウィズ・ジュディ

2014/6/4 wed start **19:00** (open **18:30**)

京都芸術劇場 春秋座 
(京都造形芸術大学内)

入場無料

主催：京都造形芸術大学<舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点> 2014年度 共同研究プロジェクト「老いを巡るダンスドラマトゥルギー」研究代表者 中島那奈子
協力：ゲーテ・インスティトゥート・ヴァイラ鴨川  国際シンポジウム<老いと踊り>実行委員会

An Evening with Judy

アン・イブニング・ウィズ・ジュディ

企画・演出・振付・舞台美術・出演：ライムント・ホーゲ
 ゲスト出演：上野天志(ダンス)、ルカ=ジャコモ・シュルテ
 アーティスティックコラボレーション：ルカ=ジャコモ・シュルテ

2014/6/4 wed

start 19:00 (open 18:30)

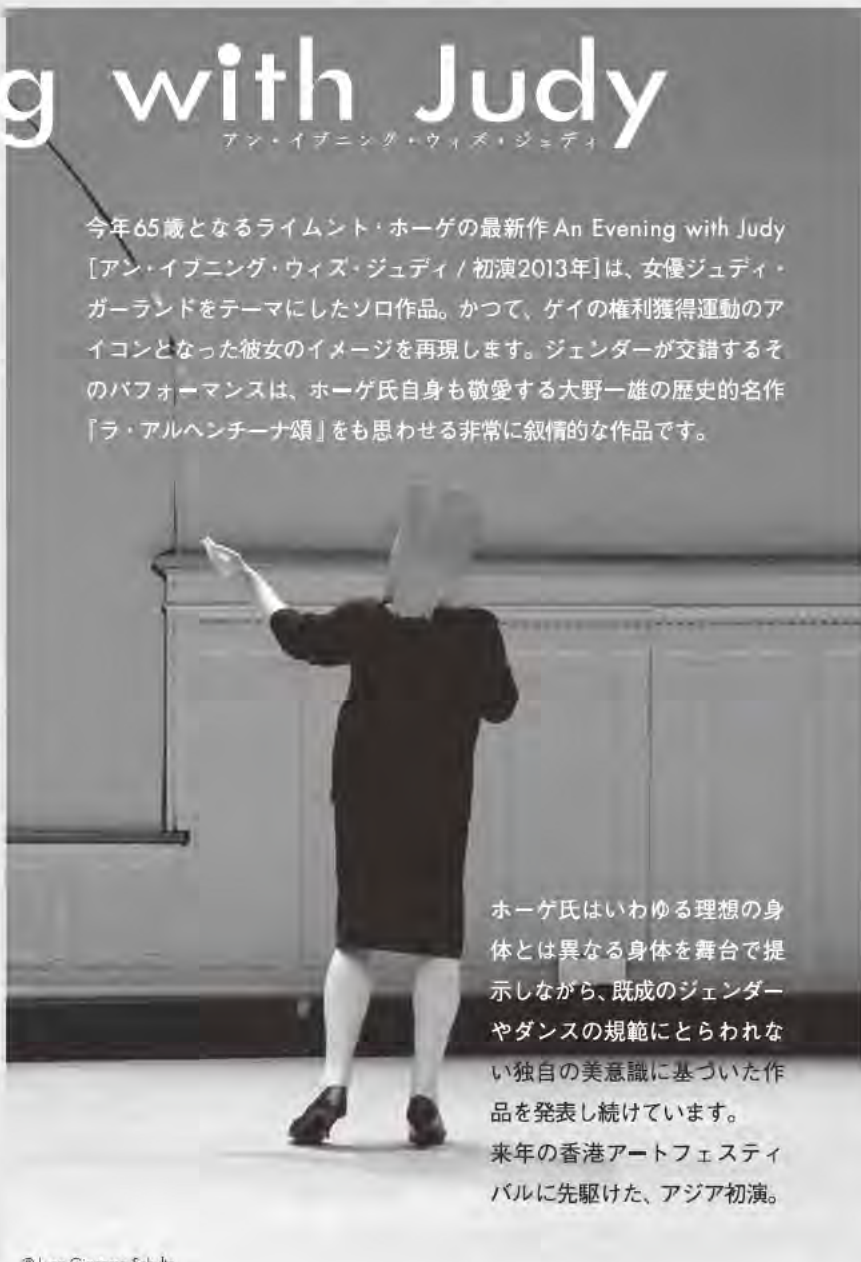
入場無料 申込不要(先着優先)
 ※当日直接会場へお越しください。

Raimund Hoghe [ライムント・ホーゲ]



ヴッパータール(ドイツ)生まれ。現在はデュッセルドルフ在住。ドイツの週刊誌[Die Zeit]上で、アウトサイダーや著名人について執筆した批評を発表することからキャリアをスタート。これらの批評はのちに数冊の本としてまとめられている。1980年から90年までピナ・バウシュ・ヴッパータール舞踊団でドラマトゥルクを務め、のちに同舞踊団についても2冊の本を著している。1989年からは自らダンサーや俳優のための舞台活動を展開し始め、1992年からは造形芸術家ルカ=ジャコモ・シュルテとの創作活動を継続している。1994

年には最初のソロ作品(Meinwärts)を製作、続いて製作されたChambre séparée(1997)とAnother Dream(2000)とを合わせ"20世紀に関する三部作"として発表している。また、舞台活動の傍ら多数のテレビのプロジェクトにも関わる。そのうちの1本(Der Buckel)は、1997年西部ドイツ放送の依頼により製作された彼の自伝的作品。彼の著書は複数の言語に翻訳され、またその舞台作品はヨーロッパ各国、南北アメリカ各国、さらにはアジア各国、オーストラリアなどに招聘されている。2001年「ドイツ・プロデューサー振付賞」受賞
 2006年Swan Lake, 4Actsがフランス批評家による「最優秀外国作品賞」受賞
 2008年ダンス専門誌[bolettanz]の批評家投票により「ダンサー・オブ・ザ・イヤー」受賞
www.raimundhoghe.com



今年65歳となるライムント・ホーゲの最新作An Evening with Judy [アン・イブニング・ウィズ・ジュディ / 初演2013年]は、女優ジュディ・ガーランドをテーマにしたソロ作品。かつて、ゲイの権利獲得運動のアイコンとなった彼女のイメージを再現します。ジェンダーが交錯するそのパフォーマンスは、ホーゲ氏自身も敬愛する大野一雄の歴史的名作「ラ・アルヘンチーナ頌」をも思わせる非常に叙情的な作品です。

ホーゲ氏はいわゆる理想の身体とは異なる身体を舞台上で提示しながら、既成のジェンダーやダンスの規範にとらわれない独自の美意識に基づいた作品を発表し続けています。来年の香港アートフェスティバルに先駆けた、アジア初演。

© Luca Giacomo Schulte

同時開催 公開研究会「老いを巡るダンスドラマトゥルギー」 2014/6/3 tue start 19:00

登壇者：ライムント・ホーゲ(振付家)、中島那奈子(ダンスドラマトゥルク) 他
 会場：京都造形芸術大学 人間館 NA102

入場無料 申込不要(先着優先)
 ※当日直接会場へお越しください。

公演に先立ち振付家ライムント・ホーゲ氏とダンスドラマトゥルク中島那奈子による公開研究会を開催します。かつてピナ・バウシュの創作を支えた、ダンスドラマトゥルクの歴史的第一人者でもあるホーゲ氏を招き、ゲイ文化やジェンダー構築、理想の身体などとの関係から「老い」というテーマを考えます。

中島那奈子

ベルリン自由大学で「踊りと老い」のテーマにコドモの視点を加えて研究を行う。ダンスドラマトゥルクとしての主な作品に、koosikja[meh [a]OUTPUT](NY Japan Society 2007)、Luciana Achugar [Exhausting Love at Danspace Project](06年度ベッシー賞)、砂連尾理[劇団ティクバ+循環プロジェクト]。日本舞踊宗家藤間流師範名執藤間勘那思。ベルリンで開催したダンスシンポジウムThe Aging Body in Danceを、5月23、24日に「老いと踊り」として東京ドイツ文化センターで開催。 <http://www.nanakonakajima.com/>

主催：京都造形芸術大学<舞台芸術作品の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点> 2014年度 共同研究プロジェクト「老いを巡るダンスドラマトゥルギー」研究代表者 中島那奈子
 協力：ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川 国際シンポジウム<老いと踊り>実行委員会

京都芸術劇場 春秋座

【問合せ先】 京都造形芸術大学 共同利用共同研究拠点事務局(舞台芸術研究センター内)
 Tel. 075-791-9437 (平日10時~17時) 担当:塚本、四ヶ浦

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116 京都造形芸術大学内

京都芸術劇場 検索 共同利用・共同研究のバナーをクリック

会場案内

◎JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

◎京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から京都市バス204循環に乗り、「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

◎京阪電車出町柳駅から叡山電車に乗り換え、茶山駅下車(徒歩約10分)

※駐車場はございませんので、お車・バイクのご来場はお断りします。



白川通りから劇場1F(人間館1F)へは、瓜生館エレベーターをご利用下さい。